

21年3月期 上半期連結業績について

上席執行役員

岡 恭彦

2020年10月29日

- 業績概要（PL、受注高、受注残高）
- 業績概要 第2四半期期間（PL、受注高、受注残高）
- 売上区分別（売上高、受注高、受注残高）
- 業種別売上高
- セグメント別業績
- 営業利益の増減分析
- 通期業績予想・中間配当

21年3月期 上半期決算 (IFRS)

業績概要 (PL・受注高・受注残高)

(単位：百万円)

	20年3月期	21年3月期	増減額	増減率
売上高	187,263	189,755	2,492	1.3%
売上総利益	47,096	48,914	1,817	3.9%
売上総利益率	25.2%	25.8%	0.6%	
販売管理費 [※]	△ 26,694	△ 27,697	△ 1,003	3.8%
営業利益	20,402	21,217	814	4.0%
営業利益率	10.9%	11.2%	0.3%	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	14,499	14,869	369	2.5%
受注高	179,629	179,915	285	0.2%
受注残高	129,873	137,301	7,427	5.7%

※その他の収益及び費用を含む

(単位：百万円)

	20年3月期	21年3月期	増減額	増減率
売上高	95,932	95,398	△ 533	△0.6%
売上総利益	25,035	24,869	△ 165	△0.7%
売上総利益率	26.1%	26.1%	0.0%	
販売管理費※	△ 13,045	△ 13,931	△ 886	6.8%
営業利益	11,989	10,937	△ 1,051	△8.8%
営業利益率	12.5%	11.5%	△1.0%	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	8,398	7,608	△ 789	△12.2%
受注高	92,073	96,176	4,103	4.5%
受注残高	129,873	137,301	7,427	5.7%

※その他の収益及び費用を含む

システム開発

(単位：百万円)

	20年3月期	21年3月期	増減額	増減率
売上高	76,267	78,474	2,207	2.9%
受注高	77,129	80,298	3,168	4.1%
受注残高	35,701	38,190	2,488	7.0%

➤ 売上高

- ・銀行業・電力業向け案件の反動減
- ・電機業向け基幹システム再構築案件や、製造業向け戦略的投資案件の増加

➤ 受注高・受注残高

- ・証券業向け大型案件の反動減
- ・流通業向け基幹システムの再構築案件等は増加

保守運用・サービス

(単位：百万円)

	20年3月期	21年3月期	増減額	増減率
売上高	70,044	74,524	4,480	6.4%
受注高	60,624	64,964	4,340	7.2%
受注残高	78,219	83,563	5,343	6.8%

➤ 売上高

- ・製造業・金融業向けマネジメントサービスおよびデータセンタービジネス、BPOビジネスは増加

➤ 受注高・受注残高

- ・製造業向け検証サービスの減少
- ・サービス業向けデータセンタービジネス、BPOビジネスは増加

システム販売

(単位：百万円)

	20年3月期	21年3月期	増減額	増減率
売上高	40,951	36,756	△ 4,195	△10.2%
受注高	41,875	34,652	△ 7,223	△17.2%
受注残高	15,952	15,547	△ 405	△2.5%

➤ 売上高

- ・通信業向けネットワーク機器販売および製造業向け大型ハードウェア販売の反動減
- ・前年度受注の学術研究機関向けハードウェア販売の増加

➤ 受注高・受注残高

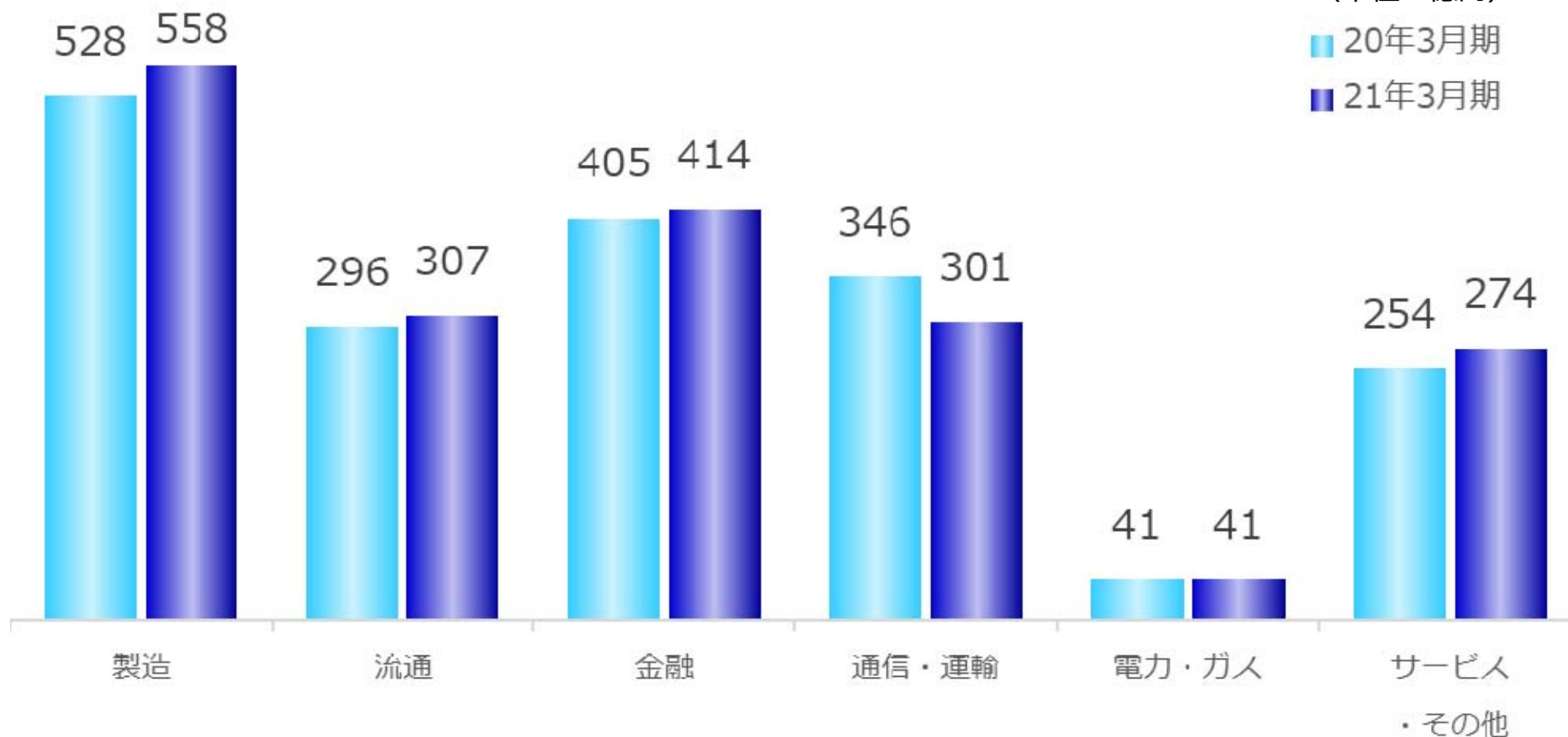
- ・通信業向けネットワーク機器販売の反動減
- ・学術研究機関向けハードウェア販売の減少
- ・製造業向け大型ハードウェア販売の反動減

業種別 売上高

(単位：億円)

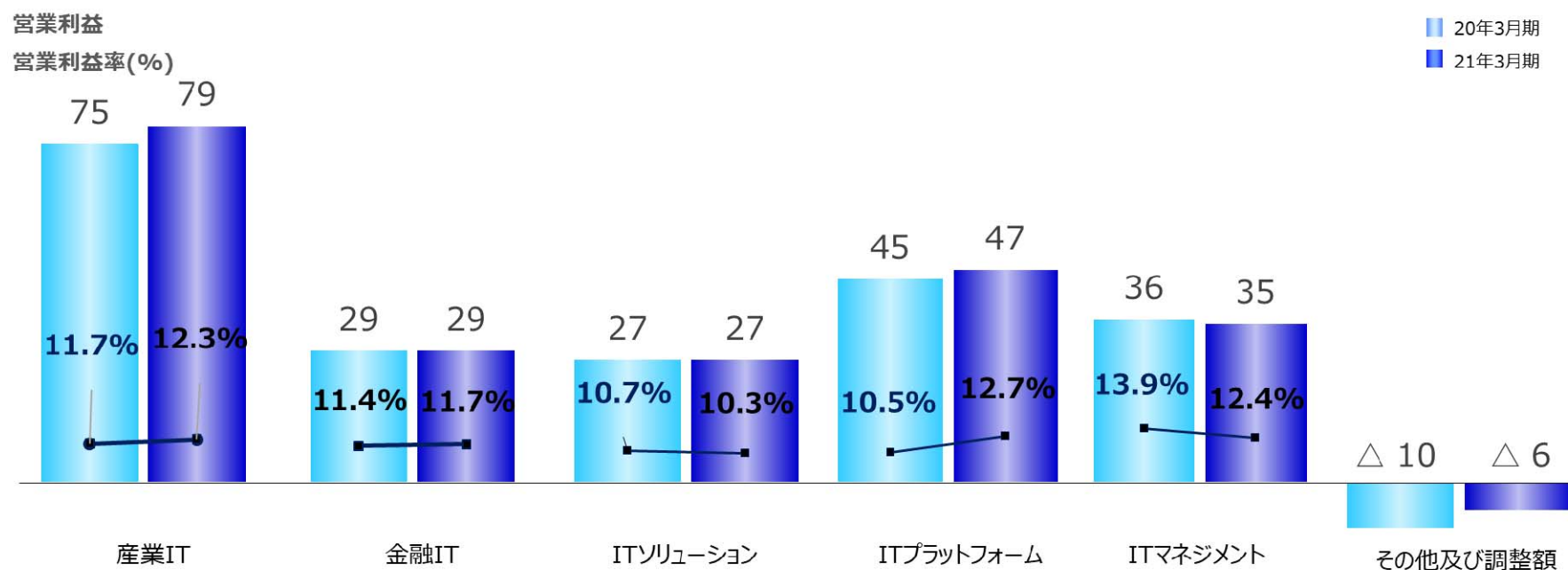
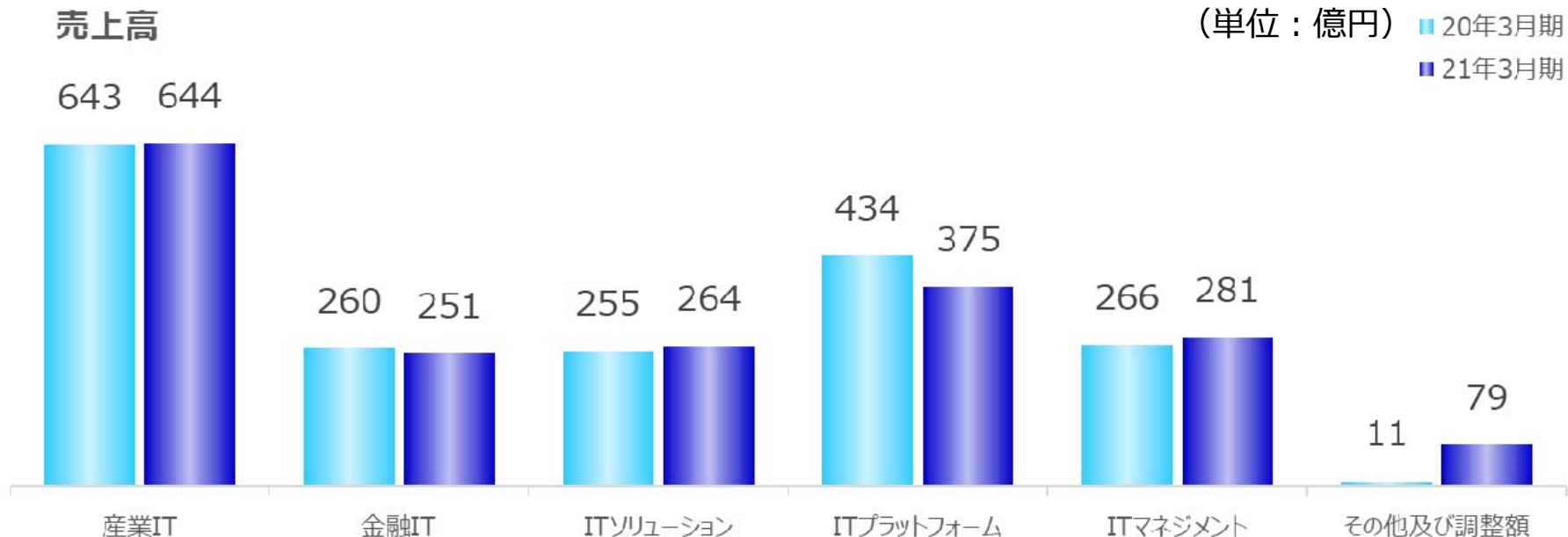
■ 20年3月期

■ 21年3月期



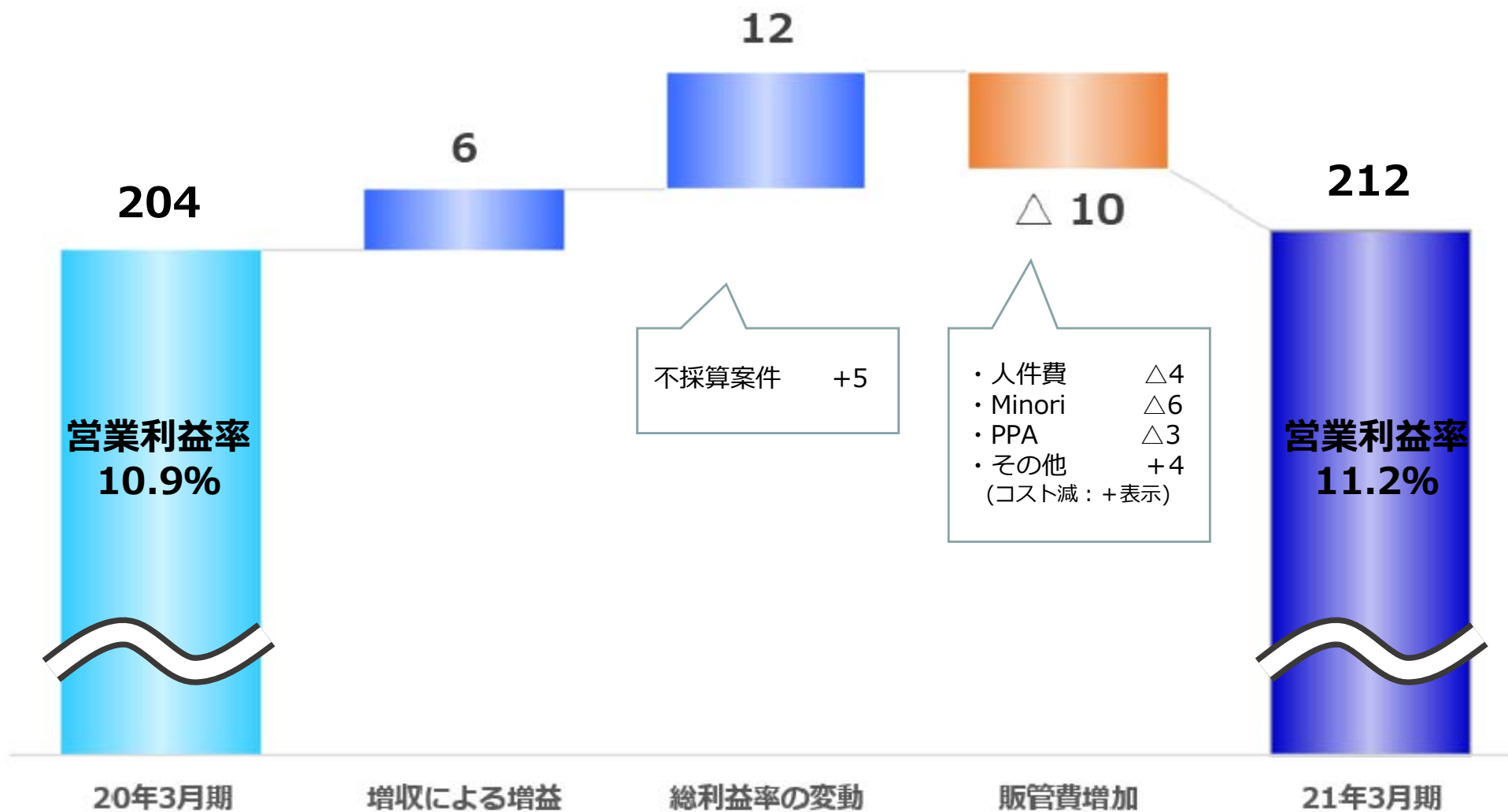
- 製造業は、自動車メーカー向け戦略的IT投資需要に対するシステム開発や精密機器メーカー向けの投資需要、食品、電機メーカー向けのシステム更新需要が増加
- 流通業は、次期システム構築需要、基幹システム再構築案件や、リモートワーク需要拡大に伴い、ネットワーク・セキュリティ製品の販売が増加。
- 金融業は、システム開発において反動減があったものの、マネジメントサービスやデータセンタービジネス等、保守運用・サービスが増加。
- サービス業・その他は、データセンタービジネスや学術研究機関向けハードウェア販売が増加

セグメント別業績 (売上高/営業利益/営業利益率)



営業利益の増減分析

(単位: 億円)



通期業績予想・中間配当

通期業績予想 変更なし

(単位：百万円)

連結業績予想	20年3月期 実績	21年3月期 予想	増減額
売上高	385,295	380,000	△ 5,295
営業利益	40,048	41,000	952
営業利益率	10.4%	10.8%	0.4%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	28,765	29,000	235

中間配当	20年3月期 上半期実績			21年3月期	増減額
	普通配当	記念配当	合計	上半期実績	
1株当たり 配当金 (円)	55	10	65	65	—

＜ 当資料利用上の留意点 ＞

- ・P7に記載の売上高前期比較（業種別）については、一部計上業種の見直しを行ったことにより、前年度の業種別売上金額を組み替えております。
- ・P8に記載のセグメント別連結業績については、当期にセグメント区分の変更を行っていることから、前年度の実績についても、変更後のセグメント区分に組み替えております。

＜ 免責事項 ＞

- ・本資料は、当社グループの業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- ・本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。
- ・本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。

- 2020.10.08 QUICK、SCSKおよび平和不動産による日本資産運用基盤への資本参加について
- 2020.10.02 金融商品仲介業者向けシステムソリューション提供における事業提携
～日本版Turnkey Asset Management Platform（TAMP）事業への取組み～
- 2020.10.01 クラウドコンタクトセンターサービス「PrimeTiaas SharePack」シリーズから
マルチチャネルに対応した上位モデル「Extended」の提供を開始
- 2020.09.30 新しい働き方を促進する7つの「マネジメント業務支援アプリ」を無償提供開始
- 2020.09.15 人事労務業務の電子化推進により、業務効率化を実現
- 2020.09.09 株式会社阪急オアシス、イズミヤ株式会社、カナート株式会社へ「QRコード決済サービス」を提供
- 2020.09.03 画像解析AIを活用した新型コロナウイルス対策ソリューションを提供開始
- 2020.08.31 開発生産性と品質の向上を支援するDevOpsサービス「DevCond.」を提供開始
- 2020.08.26 ウイズコロナに対応する企業の新たな働き方に即した新勤怠管理ソリューションを提供開始
～ERP「ProActive」とIoTソリューション「CollaboView」を連携し、適切かつ効率的な勤怠管理を実現～
- 2020.08.21 第14回キッズデザイン賞、14年連続で受賞